



光り輝く高校生活を送るために

本校では道徳教育を基盤とし、新たな時代を見据えた教育に挑んでいます。アクティブラーニング型授業や探究活動を展開。電子黒板・Wi-Fi環境を完備した全国的にも最先端をゆく教育ICTを駆使して深い学びに繋がっています。また、英語教育ではネイティブ講師による英会話指導、All Englishでの授業など4技能をバランス良く育成。セブ島語学研修やイングリッシュキャンプも行い実践力を養成しています。未来を拓く人材の育成を目指し、特色ある教育活動を展開しています。

☑ 三重大学との高大連携講座

今年度は、理科、国語、英語、社会、キャリア教育の各分野で三重大学との高大連携講座を実施しています。7月29～30日、8月1～2日に理科分野が実施されました。「動く海洋調査研究室」というテーマで、普段授業では取り組むことのできない海洋実習を楽しそうに、熱心に取り組む姿が見られました。10月18日にはキャリア教育の分野で講演会が実施されました。「身につけよう、自分に合った進路選択力」をテーマに講演をしていただきました。講演の中では、三重大学の現役の学生の声も紹介していただき、文理選択や大学の選び方など、今の1・2年生にとって非常に有意義な内容になりました。10月21日には英語分野が実施されました。英語をどのように身につけたらいいのか、第二言語の習得の方法などについて講義をしていただきました。11月5日には国語分野が実施されました。「1つの文学作品を比べ読みで精読する」をテーマに講座が行われました。文学作品の比べ読みを通して、多様な視点からみえる様々な情報を整理することが、情報があふれる現代社会を生き抜くために大切だということを学びました。



☑ 出前授業「EUがあなたの学校へやってくる」を開催しました

11月7日、1年生を対象に、駐日欧州連合代表部が主催する出前授業を開催しました。このプログラムは在日EU加盟国大使館および駐日EU代表部の大使や外交官が来校し、EUの概要や出身国についての講義と質疑応答を行うもので、本校へはドイツ連邦共和国大使館首席公使のクラウス・フィーツェ氏にお越しいただきました。講義の中ではEUやドイツと日本の関係、それぞれの国の今後の課題などを、外交官として世界各国で活躍されているクラウス先生の視点からお話していただきました。講義の後の質疑応答では生徒からもEUの今後についてや日本とドイツの違いなどについて様々な質問があり、クラウス先生から丁寧に回答していただきました。日本と世界との関わりや文化の違いなどについて多くのことを学ぶことができました。



☑ 高校駅伝三重大会に初出場

今年4月から陸上部監督に早川杏沙氏(四日市ウェルネスクラブ所属)が就任しました。早川氏は大学時代七種競技において全国大会優勝の実績のある方です。各種競技会・駅伝大会への出場を目指して本格的な活動が始まりました。11月10日には、第70回三重県高等学校駅伝競走大会(男子の部)に初出場しました。10名の選手が選出され大会に向けて一生懸命練習に励みました。結果は29校参加の24位でしたが、無事全員が完走することができました。陸上部の新たな挑戦の始まりです。



TEACHER'S VOICE



教諭 田中明子

今年度は3年生の特選コースの担任をしています。受験指導はもちろんですが、やはり、自分の数学の授業内容を向上させ、よりわかりやすく興味を持ってもらえる授業ができるよう、新しい教材を作ったり、説明の方法を工夫したりして日々努力しています。これまでの教員生活を振り返ると、うれしかったこと、悔しかったこと、悲しかったことと語りつくせませんが、自分が教えた生徒の中から、将来数学の

教員になるために頑張って大学を受験してくれた生徒がいたことが特に印象に残っています。そしてその生徒が、教育実習に来て研究授業をし、実際の教壇に立って一生懸命に教える姿を見て、この生徒がここまで教えることができるようになったんだ、と少し涙がこぼれたことを覚えています。津田学園は、全員が一丸となって熱心に授業をやるとともに、生徒たちの学力ややる気の向上につとめている学校です。



出会いと学びの広場
学校法人 津田学園

甲子園出場に関するご支援の御礼

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本校野球部の「第91回選抜高等学校野球大会」「第101回全国高等学校野球選手権大会」出場に際しまして、ご支援と力強いご声援を賜り誠にありがとうございました。皆様から賜りましたご厚志につきましては、選手の滞在費用、用具代及び応援団費用等に活用させていただきました。

本校にとって春、夏連続の出場は初めてのことでありました。春の甲子園では初戦敗退という結果でしたが、「春の忘れ物」を取りに「再び甲子園に!」を合言葉に部員一同頑張ってきました。夏の甲子園では、夢の大舞台で念願の「笑顔で校歌を歌うこと」ができ、甲子園で故郷三重にも聞こえるような校歌が鳴り響きました。

これも偏に皆様の多大なお力添えの賜物と感謝の念に堪えません。この度の甲子園出場を通して学ばせていただいた多くのことを学校として今後に活かせるよう、尚一層精進を重ねる所存です。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和元年十二月吉日

学校法人津田学園 理事長 津田 浩二
津田学園高等学校 校長 細見 明典

地域の方々をはじめ、学園関係者や卒業生の皆様からの御支援、大声援を頂きましたことに心から感謝申し上げます。振り返ってみると、昨年の夏、初戦敗退。この苦い経験を次に生かすべく主将を中心に「全員全力野球」をモットーに戦い続けた結果、春夏連続出場につながったと思います。夏の大会では、勝利して校歌が歌える喜びを全ての皆様とともに分かち合うことができ感動しました。これからも慢心することなく、選手とともに更に成長した姿を見せることができるよう、最善を尽くしていきます。今後ともよろしくお願い致します。



野球部監督 佐川竜朗

2019プロ野球ドラフト会議で前佑斗選手がオリックスに4位で指名されました

10月17日、プロ野球ドラフト会議が行われ、前佑斗君がオリックスに4位で指名されました。前君は最速152キロの右腕。春のセンバツでの好投、夏の選手権での活躍がありました。その後、韓国で行われた第29回WBSC U-18ベースボールワールドカップの日本代表選手として選出され、スペイン戦では勝利投手にもなりました。ドラフト当日の会見では、「小さい頃からの夢が実現し、本当に嬉しい。家族や仲間の支えで成長でき、感謝している。持ち味である球のキレで打者を抑えられるように鍛えたい。プロでも、佐川監督に教わったようにプレーだけでなく人間性も高い選手になりたい」と意気込みを語りました。



津田学園から
多くのみなさんが
全国大会に
出場しました!

【津田学園高等学校】
〈野球部〉
■第91回選抜高等学校野球大会
17年ぶり3回目

■第101回全国高等学校野球選手権大会
2年ぶり2回目

〈ボウリング部〉
■JOCジュニアオリンピックカップ
第43回全日本高校ボウリング選手権大会
井手口 駿(3年)

〈ゴルフ部〉
■全国高等学校ゴルフ選手権春季大会
文部科学大臣杯争奪 第39回 個人の部
高橋太陽(3年)

■全国高等学校ゴルフ選手権大会
文部科学大臣旗争奪 第40回 団体の部
女子3年ぶり3回目
伊藤花(3年)・
池ヶ谷瑠菜(1年)・打田妃菜(1年)

■第74回国民体育大会
ゴルフ 女子 池ヶ谷瑠菜(1年)

【津田スイミングスクール四日市校】
■とびうお杯第34回
全国少年少女水泳競技大会
中山碧乃 小学6年
鶴岡倫也 小学6年

【津田スイミングスクール大山田校】
■第42回全国JOCジュニアオリンピック
夏季水泳競技大会
伊藤銀士 中学3年

津田学園の教育 未来を見据え、躍動する教育活動。

「深い学びを実現するアクティブラーニング」

津田学園の歴史は幼稚園から始まりました。幼稚園では子どもたちが主体的に遊びを展開していく中で学んでおり、毎日がアクティブラーニングの実践です。本学園ではこれまで培ってきた教育実践を土台に、アクティブラーニングを取り入れ、深い学びを実現させます。

アクティブラーニングは、自らが課題を見出し、その解決に向けて主体的・対話的に取り組む学習活動です。教師・生徒が協働しながら最先端のICT機器を積極的に活用して、調べ学習・発表会、各種プレゼンテーションなどの機会を設け、知識・技能はもちろんのこと、思考力・判断力・表現力など総合力を身につけていきます。今後、さらに進展していく社会の変化やグローバル化に対応すべく、固定概念にとらわれず、積極的かつ柔軟に世界で活躍できる人材を育成していきます。

今回は津田学園小学校、津田学園中学校・高等学校(六年制)、津田学園高等学校の実践を紹介します。

津田学園小学校では、児童同士のグループディスカッションやグループワーク、さらには体験学習・調査学習といった活動を積極的に行っています。例えば4年生の「水辺の環境調査」では、河川の生き物について事前学習を重ね、その後学校付近の嘉例川に行き、生き物や水質の調査を行います。実際にその場所に行き、調査を行うことで、児童が自ら課題を見出し、その解決に向けて能動的に学びます。また、タブレット端末を使用して学習支援アプリ「ロイロノート」に調べたことや考えたことをまとめ、児童同士で意見交換をし、発表の準備を行います。そして、学習発表会でその成果を発表しています。「水辺の環境調査」はその学習の成果が高く評価され、東京大学の小柴ホールで行われた「河川教育研究交流会」において口頭発表を行うとともに、パネルディスカッションに参加し、ポスターセッションの機会をいただきました。



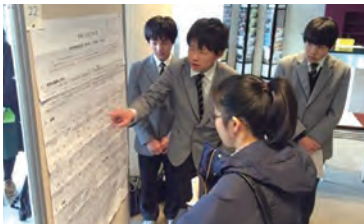
六年制の津田学園中学校・高等学校では、授業で生徒たちが様々な思考や着眼点をもつ発問をし、考えをまとめたり意見を述べたりする機会を増やしています。また、生徒同士の対話の時間を多く持ち協働的な学習機会を設けています。中学1～3年生では、本校独自のプログラム「探究基礎」を実施しています。月曜日と金曜日の放課後の時間を利用して、今年度は「英語の会話力を磨こう」「数学の楽しさを味わおう」「歴史のロマンを楽しもう」「理科実験を楽しもう」という講座を開講しています。生徒たちは興味関心のある講座の一つを選択し、1年間かけて自分で決めたテーマについてじっくりと取り組みます。興味ある項目を自由に活動できるこの講座では、学ぶ楽しさを実感するとともに、「考える」「調べる」「まとめる」「発表する」といった学問の基礎となる姿勢を身につけます。



三年制の津田学園高等学校では、授業の最初に目標をはっきり示し、最後はリフレクションシート(授業を振り返るための用紙)を使い、授業の目標を達成できたか、積極的に対話・議論ができたかなどを振り返り、一人ひとりが主体的に学習に取り組む姿勢を身につけています。

また、総合的な探究の時間を活用して「探究活動」を行っています。1年次は自然科学分野、人文社会分野からテーマを選び、2年次は自由にテーマを設定し活動します。各グループに分かれ、設定したテーマについてアンケートやフィールドワークなどの手法を用い、仮説を実証し、全員がクラス内でポスター発表を行います。選拔されたグループは全体発表会で発表します。

全体発表会では、高大連携事業の一環で鈴鹿医療科学大学との「冷え性の改善と薬膳」や、國學院大学との「本居宣長について」をテーマにした発表も行っています。探究活動で自ら課題を発見し、解決するための過程を体験して、実社会に通用する資質・能力を育てていきます。



TOPICS

学校法人津田学園 講演会を実施しました

10月29日、関西学院大学教授の村尾信尚氏をお招きし講演会を実施しました。村尾先生は大臣官房調査企画課や外務省在ニューヨーク日本国総領事館副領事などを経て、三重県総務部長、環境省総合環境政策局総務課長などを歴任され、昨年9月までNEWS ZEROのメインキャスターを務められました。

講演のテーマは「明日をになう君たちへ」。まず、ご自身の人生を振り返られ、三重県庁出向時の本学園創立者津田勉前理事長との縁に始まり、「人間万事塞翁が馬」になぞらえてご講話いただきました。その後、日

本社会の現状や今後の日本に迫る課題をわかりやすく説明していただき、次世代を担う若者たちにその解決を託されました。生徒たちも真剣な様子で聞き入っていました。質疑応答では「私たちの世代に問われている力は何か」という質問に対して、夢を持つことの大切さを語っていただきました。

村尾先生は、今後改めて全国の学校をめぐる若者に向けてメッセージを贈りたいとのことで、うれしいことに本学園の講演がその第一歩だったそうです。本校の生徒にとっても大変貴重な経験となりました。



幼稚園



<http://tsudagakuen.ac.jp/yochien/>



あかるく なかよく げんきよく さまざまな体験を通して、こころとからだを豊かに育てます。

津田学園の歴史は笹川幼稚園(現:津田第一幼稚園)からはじまり48周年を迎えました。「こころの豊かな子ども」「自分で考え、最後までがんばる子ども」「みんなと仲良くできる子ども」を教育目標に掲げ、創立以来、理想的な幼児教育の確立を目指し、日々の保育を意欲的に展開しています。幼児期は子どもたちの目ざましい成長が見られ、人格形成の基礎を培う大切な時期です。一人ひとりの子どもに丁寧に寄り添いながら、子どもたちの成長を精一杯応援していきます。

津田第一幼稚園

四日市市笹川1丁目106-2
TEL:059-321-8836

『水についての講座』に参加しました。

6月4日、四日市市上下水道局の職員の方にお越しいただき、「水」について話を聞きました。応急給水の実演では、災害など水道から水が出ない時に給水車から水を運ぶ方法を体験しました。代表の園児が飲料水用の袋に水を入れてもらって、ひもを結んでリュック型にした袋を背負いました。その後、幼稚園のホールにおいて、「水道の水はどこから流れているか?」など水道についてクイズを行いました。職員の方に水源には限りがあるので水を大切にすることなどを教えていただきました。また、実際に水道水で手を洗う方法や、その時に水を出しっぱなしにしないことも教えていただきました。普段何気なく使っている「水」の大切さを再確認することができました。



津田三滝幼稚園

四日市市川島町6513
TEL:059-321-8311

ネイティブの先生の英会話を楽しみにしています。

子どもたちは英会話の時間が大好きです。ネイティブの先生を見つけると「Hello」と笑顔で話しかけにいきます。専任講師のギブソン・スコット先生は指導の中で「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」ことを意識して子どもたちとふれあっているそうです。英会話指導は通年を通して行われ、毎回笑いであふれています。歌の「Helloソング」から始まり、色・乗り物・野菜などのカードを使用して英単語にふれます。そのカードを使用して椅子取りゲームもします。ゲームを通して外国のことに触れ、発音の仕方なども自然に身につけることができます。英語の歌も子どもたちは大好きで、音楽が流れると自然とからだ動き、元気に歌っています。指導の最後には、静かな気持ちで英語の絵本も見ます。日本の絵本とは違った外国の物語の世界に、子どもたちは引き込まれています。



津田第二幼稚園

四日市市笹川7丁目52
TEL:059-321-8011

iPadでお絵かきをしました。

教育ICTの一環として、絵画指導の柿原先生にタブレットを使ってのお絵描きを指導してもらいました。タブレットをみるなり、「スマホの大きいのだ〜」「お家にあるのと一緒に?!!」という声が聞かれました。今回はタブレットを4人一組で使用。日ごろより、お家でパソコンに親しんだり、ゲームをしていることもあってか、説明を聞くと、すぐに理解し迷いもなく取り組んでいました。指で描けたり、いろいろな色やグラデーションも楽しめるとあって、アイコンを上手にクリックして、線の太さや色を変えて好きな文字や絵を描いたり色づけをしていました。自分たちの好きなものを順番に描いたり、一つの作品をみんなで色づけるグループもあったりとさまざまでした。園児たちは、「あ〜という間だ〜」「楽しい!」「もっとやりたい!」「1人一台あるといいな!」との声もありました。これからも、いろいろな場面でタブレットに触れる機会をつくっていきます。



津田桑名幼稚園

桑名市大字東方266-1
TEL:0594-22-2611

温水プールで水中鼓隊を楽しみました。

津田桑名幼稚園は温水プールが併設されており、年間を通して水泳指導を行っています。泳げるようになるための指導だけでなく、水中お遊戯や水中運動会など水に親しめる機会を設けています。その一環として、10月16日に年長児が運動会で行う鼓隊を水の中で行いました。子どもたちは、それぞれの思いを自由に表現していました。太鼓チームの子どもたちは、ペットボトルをバチに見立てて水をたたき、カラーガードの子はヌードルを、ポンポンの子はメガホンを持って踊ります。陸上とは違う、水の感触を感じながらの鼓隊を楽しんでいました。幼児期の子どもたちにとって自らの興味・欲求に応じて身体で自由に表現することは、想像力を高めるとともに、身体的機能の向上につながっていきます。



津田大山田幼稚園

桑名市野田5丁目3-12
TEL:0594-31-8182

地域の方々と交流を行っています。

11月3日、通園地域である七和地区のお祭り「七和農業祭」に参加しました。農業祭には毎年参加しており、年長児が鼓隊の発表をしています。太鼓・ポンポン・ガード・手旗の迫力ある演奏は、地域の皆様に喜んでいただいています。子どもたちも日ごろの練習の成果を発揮できる機会として楽しみにしています。発表後は屋台や体験ブースに招待していただき、地域の皆様とのふれあいを深めています。そのあと、七和地区に生息している生き物が載っているクリアファイルをいただき地域のようすを教えてくださいました。また、12月にはイオン桑名のアंक専門店街の噴水広場にてクリスマスコンサートに参加します。幼稚園の紹介と共に季節にちなんだ曲を年長児が心をひとつにして発表しています。こうした交流を通して、地域の皆さまから愛される幼稚園になれるよう努めていきます。



津田スポーツクラブ

津田サッカークラブ 津田テニススクール 津田こども基礎体育クラブ
津田新体操クラブ 津田バレエクラブ 津田ジュニアゴルフクラブ
津田四日市リトルシニア

津田スイミングスクール
<http://tsudagakuen.ac.jp/swim/>

大山田校 桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-1161
桑名校 桑名市大字東方266-1 TEL:0594-22-2610
四日市校 四日市市久保田2丁目11-13 TEL:059-355-7771

<http://tsudagakuen.ac.jp/sports/>
TEL:0594-31-1161



第2回津田スイミングカップ開催

9月29日、津田スイミングスクール大山田校で「第2回津田スイミングカップ」が開催されました。同大会は津田スイミングスクール大山田校・桑名校・四日市校の会員を対象に、日頃の練習の成果を発表する場と競技の楽しさを知ってもらう目的で開催されました。68名が参加し、幼稚園児から選手育成の小学6年生までが熱い戦いを繰り広げました。開会式では職員によるスタート(とび込み)方法の説明や指導があり、競技におけるルールを学びました。また、第74回国民体育大会水泳競技大会、男子成年4×50mフリーリレーで4位入賞を果たした桑名校の石黒智基先生がとび込みとクロールの模範泳法を行い、きれいなフォームと速さに驚きの声があがりました。

競技種目は10種目で学年ごとに競い、普段の練習とは違う緊張感と仲間から応援されるよろこびを感じながら一生懸命泳いでいました。レース後は「50m泳げた!」「やったー1位!」など様々な声があり、大会を楽しんでいる様子が伺えました。



全力で泳いでいる様子



石黒先生による模範泳法

進学塾津田学園

<http://tsudagakuen.ac.jp/juku/>
TEL:059-321-8221

本部・笹川スクール 四日市市笹川1丁目123 大山田スクール 桑名市野田5丁目3-12 桑名駅前スクール 桑名市大字東方266-1

進学塾津田学園のアクティブイングリッシュスクールでは、今年初めて笹川スクールと大山田スクールで保護者向け英語セミナーを実施しました。英語教育改革における「使える英語の修得」についてや、今後取り組むべき方法・方向性を中学・高校の学習内容や大学入試改革に基づき提案させていただきました。この分野は関心が高く、すべての会で多くの参加がありました。来年2月に同様の英語セミナーの開催を予定しております。昨年度よりスタートした、幼児・児童向けのアクティブイングリッシュスクールも2年目を迎え、会員数は倍増となり、英語教育に対する理解の深さを感じております。皆様の期待に応えられるような英語教育を実践していきます。



TEACHER'S VOICE



津田第一幼稚園 主任教諭 大野恭子

早いもので津田学園の幼稚園教諭となり22年目を迎えました。今年度は年長児の担任をしています。年長になると初めて体験する活動がたくさんあり、子どもたちの成長を一段と感じる場面があります。お家の方と離れホテルに一泊する「宿泊保育」を終えた子どもたちの表情は、一人で泊まれたという自信に満ち溢れ輝いています。また、「運動会」では組体操やリレーなど、自分のためだけでなく、みんなのために頑張ろうとする姿が見られ逞

しさを感じます。一つの行事を例にしても、たくさんの成長をみることができる幼稚園生活。毎日、子どもたちに寄り添いながら新しい発見があり充実しています。最近担任をしていた卒園児が津田学園の先生になったり、お母さんになり、お子さんを幼稚園に通わせてくれたり、幼稚園に再び戻ってきてくれています。これからもたくさんの子どもたちとの出会いを大切にしていきたいと思っています。



「未来を拓く学力と自他を愛する人間性」の育成

津田学園小学校では、「頭のいい、賢い子ども」を目指す児童像に掲げ、初等教育の時期に、実体験を重視した多様な教育を取り入れています。様々な学習を通じ、学びの幅を広げ、児童の好奇心や探求心を深め、感受性を育みます。多彩な教育プログラムにより、「未来を拓く学力と自他を愛する人間性」の育成をめざし、教育活動に邁進していきます。

◎ 中国 太倉市新区第三小学校との交流会を実施しました

7月8日、本校と交流活動を行うために、中国の太倉市新区第三小学校の児童38名と教職員が来日しました。英語で自己紹介をした後、両国のじゃんけんの仕方を覚えしました。じゃんけんの後は音楽を通じた交流です。本校からは校歌の合唱と七夕の歌をプレゼントし、第三小学校からも歌のお返しがありました。お互いの国の伝統的な歌を聞く良い機会となりました。質問コーナーではお互いの学校の共通点がたくさん見つかり、さらに親近感を覚えたようでした。最後に全員で写真撮影をし、互いに別れの言葉を述べ、別れを惜しみました。海を隔てた国の小学生との交流はかけがいのない思い出となりました。



◎ 浴衣の着付けを学びました

6月14日、3年生が日本舞踊西川流師範である西川千穂寿先生より、浴衣の着付けを教わりました。津田学園小学校に隣接するレセプションハウス内の和室で学びました。彩り豊かな浴衣に袖を通し、着付けの順序を学んでいきます。事前に「蝶結び」を教わっていたので、自分たちで思い出しながら帯を結ぶことができました。結び方の呼称など通常の授業では学ぶことのできない貴重な機会となりました。浴衣を着た子どもたちはどこか大人びて見え、自然と背筋がピンと伸びたようでした。来年はぜひ自分で浴衣を着て、出かけてみてはいかがでしょうか。



◎ キッズ“輝け”スクール 警察官による非行防止教室

7月11日、桑名警察署の警察官とボランティアの方々による、キッズ“輝け”スクール（非行防止教室）を1年生が受けました。友だちのクレパスを勝手にもっていくことを題材にした劇を見て、探しているときの友だちの気持ちを考えました。最後に警察官の方から「3つの大事なこと」について話をいただきました。1つ目は、勝手に人のものを使ったり持っていくたりしないこと、2つ目は、大切なものがなくなったらその人が悲しむということ、3つ目は、自分の頭で良いことか悪いことかをよく考え、自分で決めてから行動しようということです。ご協力いただきました三重県警の警察官とボランティアスタッフの皆様、ありがとうございました。



◎ 夏期講習でプログラミング学習を行いました

4～6年生の希望者を対象に夏期講習を行っています。主要4教科の講習に加え、プログラミングの学習も行います。7月26日、4年生のプログラミング学習では教材ロボット「m-Bot」を組み立て、操作しました。ロボットの基盤にCPUを取り付け、専用のiPadアプリを使って操作します。アプリの案内に沿って、試行錯誤しながら課題をクリアしていききました。グループでアイデアを出し合いながら何度も失敗を繰り返し、課題に取り組みました。「ロボットはこちからの指示で忠実に動かせることがわかった。」や「思い通りに動かすために友達と、たくさん意見を交換した。」などの感想を聞くことができました。



TEACHER'S VOICE



主任教諭 中村明日香

今年度は5年生の担任をしています。教科は5・6年生の算数と6年生の家庭科を担当しています。5年生の算数は教科書の内容から中学校入試対策の内容に変わる時期です。くらしの中で算数と関わること（例えば自動車の速さや地図の縮尺など）を取り上げ、算数を身近に感じることができるように指導しています。6年生の算数は中学校入試に関わる内容を中心に教えています。子どもたちが「分かった!」、「できた!」というときの喜びと一緒に味わっています。1期生が1年生のときから大切にしている「計算の時間の反復練習」は継続しています。計算する力や集中力を身につ

けることができるように、毎朝5分程度、計算プリントを実施しています。電子黒板が導入されてから、テンポよく授業を進めることができ、子どもたちの話し合いや問題演習の時間を多く確保することが可能になりました。子どもたちの話し合いの中で出た「なぜ?」、「どうして?」を大切にしています。また、そこから考えた結果や結果に辿り着いた過程を、子どもたちが自分の言葉で説明できるようにしています。初代校長に言われた「歩きながら考える。」これからもその言葉を忘れずに、津田学園小学校とともに歩み、児童にとって一番良いと思えることを目指したいと思います。



先行く学びが未来を拓く

本校では知識・技能はもちろんのこと、主体性・協調性・多様性を磨き自ら考える力を伸長する先進的な取り組みを実践しています。アクティブラーニングや英語教育、教育 ICT を強く推し進めるとともに、高校課程の「探究活動」を見据え低学年では学びの土台づくりとなる「探究基礎」を展開しています。中高一貫制の環境を存分に活かし、「社会的責任を自覚し、知・徳・体の調和のとれた人材育成」に努めています。

□ 持続可能な開発目標(SDGs)への理解を深めています

5月29日、SDGsワークショップを実施しました。(株)JTB在籍のファシリテーターの方々にお越しいただき、カードゲームなどを通して持続可能な開発目標についての理解を深めました。生徒らは楽しみながらも真剣に、世界が抱える課題について考えることができました。2030年までに解決しなければならない問題は山積みですが、この学習を足掛かりにさらに理解を深めていきます。SDGsは、世界全体がともに取り組むべき問題として国連で採択され、教育的な推進が今後一層進んでいく分野です。1～5年生の各クラスは、このワークショップで得た学びからSDGsにおける17の目標のいずれかを取り上げて、9月20日の文化祭で研究成果を発表しました。今後も、世界が抱える課題について理解を深め、問題意識を共有し、課題解決に向けたアクションへと発展させていきます。



□ 現役東大生と学ぶ!特別学習合宿

8月15日～17日、鈴鹿市の鈴鹿青少年センターにおいて、4～6年生を対象に「現役東大生と学ぶ!特別学習合宿」を実施しました。この合宿は、大学進学を目指す上での学力・精神力の向上、基本的学習習慣の確立、進路実現に向けた受験対応の学力習得を目的として実施しています。4人の東大生から個別指導を受けられることはもちろん、受験時の経験をもとにした学習に対する実践的なアドバイスをもらうことができるなど、大学入試を目前に控えた6年生にとって非常に充実した合宿となりました。日を重ねるごとに参加者一人ひとりが自身と向き合い努力し成長する姿が見られました。



□ 留学生との交流がありました

ロサンゼルス市からの留学生である^{すみれ}深田董さんと約1ヶ月間にわたり交流を行いました。留学期間の終盤である7月18日の6時限目には、董さんから4・5年生の生徒にアメリカの学校生活について様々な話をしてくれました。生徒からは、「アメリカの学校は何時まで授業があるのですか」、「昼食はどのような感じですか」などの質問があり、日本とアメリカの違いにとっても興味深そうな様子でした。董さんはこの1ヶ月を「日本の学校に通うのは初めてで不安もありましたが、津田学園のみなさんは礼儀正しく、私に対してもとても親切でした。アメリカでは、中学ではホームルームがないためクラスみんなで何かをすることもなかったのですが、ここでは男女関係なくみんなの仲が良くて驚きました。津田学園での学校生活は短かったけれど、互いに助け合う態度や感謝の気持ちを持てたことが私にとっての成長でした。」と振り返っていました。1ヶ月という短い期間でしたが本校の生徒にとっても多くの事を学ぶことのできる機会となりました。



□ 新しいバスロータリーで植樹を行いました

5月24日、1～6年生が植樹を行いました。三種類の桜（河津桜・ソメイヨシノ・八重桜）と寒椿を敷地内に新設されたバスロータリーの一角に植えていきました。植樹に際して、理事長からは、5年前に植樹した「ふるさとの森」のように今回植える木々も立派に育ち、皆さんがここに戻ってきたときに懐かしんでもらえるようにしたいとお話があり、校長からは桜をより長く見ることができるよう咲く時期が異なる桜をみんなで植えたい、とお話がありました。慣れない手つきでしたが、生徒も先生も協力しながら一本一本大切に植えていきました。この桜と寒椿はこれからも津田学園と皆さんと共に成長していきます。



TEACHER'S VOICE



副校長 古川秀樹

特色ある英語教育を目指して

Time Flies. 1期生から34期生まで英語の指導一筋、現在特色ある津田の英語教育の構築をめざし、自ら先頭に立ち、毎日生徒を叱咤激励しております。本校においては、いち早く中高一貫の強みを生かした英語教育の青写真を作成し、グローバルマインド育成プログラムを計画しました。その中心は、3年次の3月に実施予定の14日間オーストラリア・シドニー語学研修です。6年間の中間点で、「読む、書く、聞く、話す」力をフルに発揮して、それまで学んできた英語力を希望と不安を抱きながら全身で試す絶好の機会です。一人ひとりが14日間、

360°全身で英語を体験します。シドニーでの14日間は必ず生徒の心に深く刻まれると共に、自らの可能性や将来への夢を大きく膨らませるターニングポイントとなることでしょう。後半の3年間はさらに英語や外国に興味関心を深め、英語学習に一層励んで、バランスのとれた高い英語力を身につけ、大学受験だけでなく大学入学後においても、津田学園で学んだ英語力が大きな力となり、広く世界に羽ばたく、原動力になると考えます。津田学園中学校・高等学校で30年以上にわたって英語を指導してきた私にとってもこれは、大仕事です。必ず成功するよう日々指導に励んでおります。